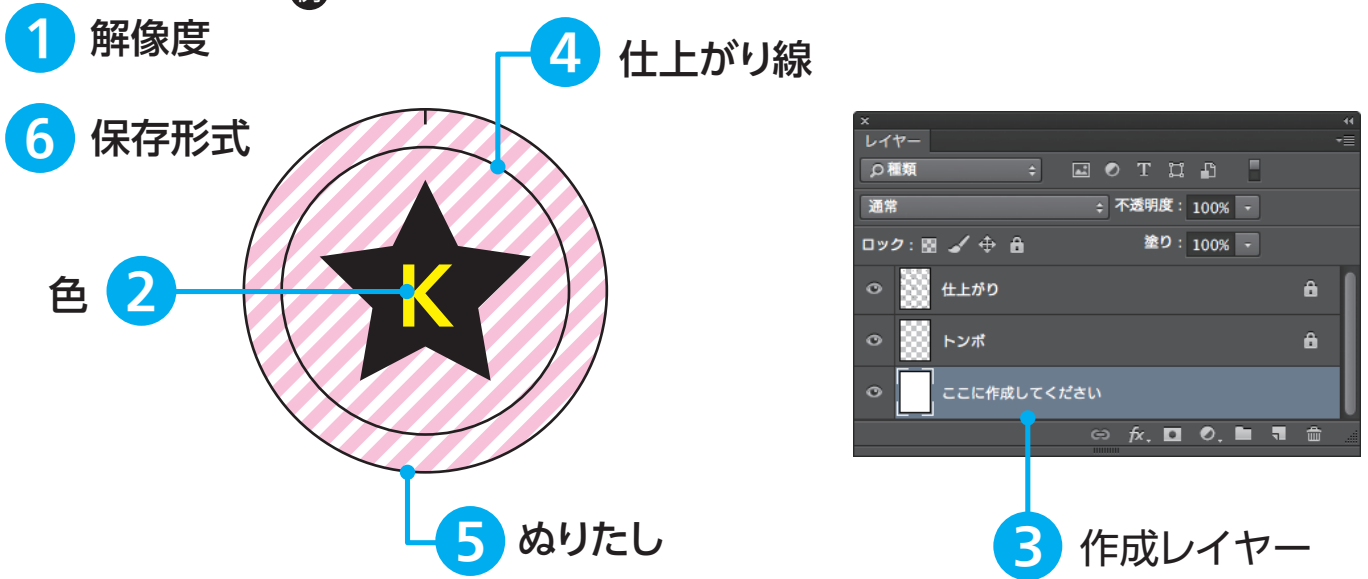


※完全データとは、当社で手を加える必要のないデータのことです。

Adobe Photoshop 用 カラーデータ作成時のチェックポイント

例：缶バッジ



解像度 1 原寸サイズで300～350dpiを推奨しております。
解像度はメニューの「イメージ」→「画像解像度」で確認することができます。
必ずCMYKにしてプロファイルは埋め込まないでください。

色 2 プロファイルは埋め込まれていないCMYKデータで入稿してください。

作成レイヤー 3 「ここに作成してください」レイヤーにデータを作成してください。
作成レイヤーは増えても構いません。「トンボ」レイヤーは変更禁止です。
「仕上がり」レイヤーは、缶バッジ仕上りのアタリとなりますので変更禁止です。

仕上がり線 4 内側の円のラインで型抜きします。切れてはいけない文字やデザインは
ラインより3mm内側にデザインしてください。

めりたし 5 仕上がり部分まで絵柄がある場合は、仕上がり部分より5～7mm外側まで
めりたしをつけてください。

保存形式 6 「このレイヤーは消してください」レイヤーを消してからレイヤーを統合し、
カラープロファイルの埋め込みのチェックを外してPDF/X-4形式もしくは
PSD形式で保存して入稿してください。

透明なクリアシートに印刷のため、白版データがないと下のアルミ缶バッチのメタリック質が透けて光ったような仕上がりとなります。メタリック質を見せたくない部分や白く見せたい部分には白版の作成が必要になります。弊社では特色 White（青色）という色で表現しています。

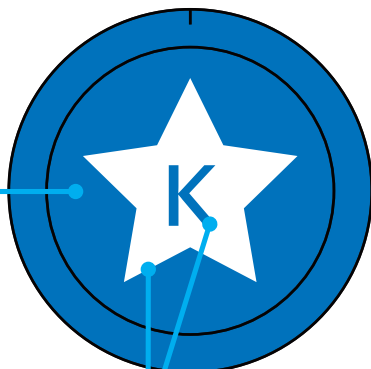
Adobe Photoshop 用 白データ作成時のチェックポイント

例：缶バッチ

1 保存方法

色

2



3

オフセット

全面白版のみ、弊社でご用意いたします。入稿時にご指示ください。



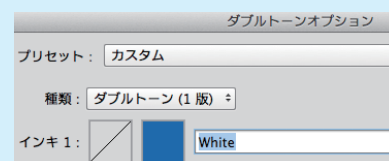
① 全面白

このように部分的白がある場合はデータをご用意ください。



保存方法 1 カラーのデータと、**白版のみのデータ**の2つに分けて保存してください。入稿データは2つとなりますが、1つのフォルダにまとめて圧縮(zip)して入稿ください。

色 2 **ダブルトーン**の**White**のデータにしてください。まず、**グレースケール**にし、Kのみのデータを作成します。その際、透けたくない箇所が100%になっているか、濃度を確認してください。その後、**ダブルトーン**でWhiteに**変換**します。



グレースケールへの変換方法：メニューの「イメージ」→「モード」→「**グレースケール**」
Whiteへの変換方法：メニュー「イメージ」→「モード」→「**ダブルトーン**」
種類:ダブルトーン(1版)、色:C100M50、名前:**White**

オフセット 3 カラーデータと白データがピッタリ同じサイズだと、印刷時の素材の伸びで絵柄から白がはみ出してしまうため、白のサイズを**変更**する必要があります。
方法：選択範囲→選択範囲の変更→縮小(もしくは、拡張)



部分的に白を印刷したい

原寸サイズで解像度350dpiの場合、カラーデータよりも**2ピクセル**縮小すると、より綺麗な仕上がりになります。



白を白として見せたい

原寸サイズで解像度350dpiの場合、カラーデータよりも**2ピクセル**拡張すると、より綺麗な仕上がりになります。

詳しい内容は Web に→<http://www.kasamart.jp/>